



陳情 1 第26号

議会史編纂事業に関する予算計上を 取り止める を求める陳情

陳情項目

- ①2020年2月定例会における議会史編纂事業の初年度予算計上を取り止めてください。
- ②議会報等で議会史編纂事業に関する経緯を市民周知した上でパブリックコメントを実施し、それを踏まえて事業化の可否を検討し直してください。

陳情理由

- ①市の財政に大きな負担を強いるにもかかわらず、議会報などによる市民周知が一切なく、市民に対する合意形成の努力がまったくなされていない。
- ②全国のほとんどの自治体が議会史の編纂を打ち切っている中（昨年9月12日の議会運営委員会資料（以下、＜資料＞と記す）によると、これからの編纂予定があるのは、県内1市（相模原市）、全国同規模自治体34市中1市（川越市）のみ）、藤沢市議会が敢えて行う合理的理由がまったく説明されておらず、市民理解が得られていない。
- ③昨年12月定例会の陳情審査では、全ての会派が予算縮減の必要性を主張していた。しかし、それ以降、議会史編纂委員会は開催されておらず、具体的な縮減方法は議論されていない。にもかかわらず、何を根拠に初年度予算を積算したのか、まったく不明である。
- ④予算規模も定まらず、編纂方針の議論もないのに、＜資料＞のスケジュール案通り、資料の収集や編纂作業を進めることはできようはずがない。初年度予算に賃料が計上されているが、こうした前提条件の議論をしている間は、事務所は必要ない。議論の後に、決定した事業規模に合わせ、必要最低限の期間と広さを確保すべきである。



2020年2月20日

住所 藤沢市下土棚240-6

氏名 福井 雄一

藤沢市議会議長

加藤一様